

広陵町男女共同参画に関する意識調査

*** ご協力をお願い ***

町民の皆様には日頃から町政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

広陵町では、町民の皆様の男女共同参画に関する意識や実態を把握し、誰もがいきいきと活躍するための施策の検討に活用させていただくことを目的として、意識調査を実施することといたしました。この調査は、町内にお住まいの満 18 歳以上の中から無作為抽出により選ばれた 2, 500 名の方を対象に実施するものです。ご回答いただいた内容は無記名で統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。またご回答いただいた内容は調査の目的以外には使用いたしません。

ご多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 29 年 8 月 広陵町長 山村 吉由

*** 記入にあたってのお願い ***

- 1 この調査は、宛名のご本人が、ご自身のお考えをお答えください。ただし、ご本人が記入できない場合は、差しつかえのない範囲でご家族等に代筆いただき、ご本人の意志を尊重してご回答いただけてください。
- 2 回答にあたっては、鉛筆又はボールペンで記入し、間違った場合は、消しゴムで消すか、二重線又は×印により訂正いただくようお願いいたします。
- 3 回答は、あなたのお考えや内容についてあてはまるものや近いものの番号に○をつけてください。
- 4 「その他」を選択し（ ）がある場合はカッコ内に具体的な内容も記入してください。
- 5 ご記入後は 8 月 21 日 (月) までに同封の封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。(切手不要)

<お問い合わせ先>

〒635-8515 広陵町大字南郷583番地1
広陵町企画部企画調整課
(TEL)0745-55-1001 (内線)1219、1256

1. あなたのことについてお聞きします

問1 あなたの性別は、どちらですか。(○はひとつ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は、おいくつですか。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの居住している小学校区は、どちらですか。(○はひとつ)

- | |
|---|
| 1. 広陵東小学校区 (南郷・古寺・百済・広瀬) |
| 2. 広陵西小学校区 (六道山・大塚・安部・平尾・疋相・三吉(赤部・大垣内・斉音寺)・笠) |
| 3. 広陵北小学校区 (沢・大野・萱野・南・弁財天・的場・大場・中・寺戸) |
| 4. 真美ヶ丘第一小学校区 (馬見南1～6丁目・みささぎ台) |
| 5. 真美ヶ丘第二小学校区 (馬見北1～9丁目・馬見中1～5丁目) |

問4 あなたの広陵町でのお住まいの年数は、次のうちどれですか。(○はひとつ)

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 | 3. 10年以上20年未満 |
| 4. 20年以上30年未満 | 5. 30年以上 | |

問5 あなたは、結婚(事実婚を含む)していますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 未婚 | 2. 結婚している |
| 3. 結婚していた(死別、離婚等を含む) | |

問6 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 一世代世帯(夫婦だけ) | 3. 二世代世帯(親と子) |
| 4. 三世代世帯(親や子と孫) | 5. その他 | |

問7 あなたは、お子さんが何人いますか(別居を含む)。(○はひとつ)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 |
| 4. 3人 | 5. 4人以上 | |

問8 あなたは、収入を得る仕事をしていますか（パート、アルバイト等を含む）。（どちらかに○）

1. 仕事をしている

2. 仕事をしていない →問9へ

問8で「1. 仕事をしている」と回答した方にお聞きします。

問8-1 それは、どのような雇用形態ですか。（○はひとつ）

1. 正社員

2. 派遣社員、契約社員、嘱託社員

3. パート、アルバイト

4. 自営業（農林業等を含む）、会社経営

5. その他

問9 あなたの配偶者またはパートナーは、収入を得る仕事をしていますか（パート、アルバイト等を含む）。（○はひとつ）

1. 仕事をしている

2. 仕事をしていない

→問10へ

3. 配偶者またはパートナーがいない →問10へ

問9で「1. 仕事をしている」と回答した方にお聞きします。

問9-1 それは、どのような雇用形態ですか。（○はひとつ）

1. 正社員

2. 派遣社員、契約社員、嘱託社員

3. パート、アルバイト

4. 自営業（農林業等を含む）、会社経営

5. その他

問10 日頃の生活のなかで各活動に費やしている時間は1日のうちでどれくらいですか。①から④のそれぞれについて時間をお書きください。1時間に満たない場合は分のみお書きください。また該当しない場合は「×」を記入してください。

	仕事や学校のある日	休みの日・仕事や学校のない日
①家事（炊事、買い物、選択、掃除等） ※送迎等の移動時間を含む	時間 分	時間 分
②育児・介護	時間 分	時間 分
③仕事・学校 ※通勤・通学時間を含まない	時間 分	
④往復の通勤・通学時間	時間 分	

2. あなたの仕事・生活についてお聞きします

<問8で「2. 仕事をしていない」とお答えされた方にお伺いします。>

※ 仕事をしている方は、問15へお進みください。

問11 あなたが、仕事をしていないのはどうしてですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 家事や子育てのため | 2. 看護や介護のため |
| 3. 定年退職したため | 4. 健康上の問題のため |
| 5. 学生であるため | 6. 休職中のため |
| 7. 働く必要がないため | 8. 働きたくないため |
| 9. その他 () | |

問12 あなたは、今後収入を得る仕事に就きたいと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. ぜひ仕事に就きたい | 2. できれば仕事に就きたい |
| 3. 仕事に就きたくない →問14へ | 4. わからない →問14へ |

問12で「1. ぜひ仕事に就きたい」「2. できれば仕事に就きたい」と回答した方にお聞きします。

問13 あなたが今後仕事に就く上で問題となることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 希望する業務内容の募集がない | 2. 勤務条件が合わない |
| 3. 家族の理解や協力が得られない | 4. 介護や子育てがある |
| 5. 自分の能力や技能に不安がある | 6. 自分の体力や健康に不安がある |
| 7. その他 () | |

問14 あなたはこれまでに収入を得る仕事に就いたことがありますか。(どちらかに〇)

- | | |
|-------|-------------|
| 1. ある | 2. ない →問19へ |
|-------|-------------|

問15 あなたの職場(かつて働いていた職場を含む)には育児休業制度がありますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|------------|-------------------|----------------|
| 1. ある(あった) | 2. ない(なかった) →問16へ | 3. わからない →問16へ |
|------------|-------------------|----------------|

問15で「1. ある(あった)」と回答した方にお聞きします。

問15-1 あなたは、育児休業を取得しましたか。また、今後取得する予定はありますか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 取得した | →問15-2へ |
| 2. 取得する予定 | →問16へ |
| 3. 取得したことがない | →問15-3へ |
| 4. 取得する予定はない | →問15-3へ |
| 5. 該当しない | →問16へ |

問18 あなたの職場は、男性が介護休業を取得しやすい職場環境ですか。(○はひとつ)

1. 取得しやすい	2. どちらかといえば取得しやすい
3. どちらでもない	4. どちらかといえば取得しにくい
5. 取得しにくい	

問19 あなたのご家庭では、次にあげるような日常的なことについて、**夫婦またはパートナー間でどのように役割分担をしていますか。**①から⑭のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)

※配偶者やパートナーのいない方は、問19-1へお進みください。

	夫婦共同	主として夫	主として妻	その他の人	特にない
①生活費の確保	1	2	3	4	5
②洗濯	1	2	3	4	5
③料理	1	2	3	4	5
④食事の後片付け	1	2	3	4	5
⑤掃除	1	2	3	4	5
⑥ゴミ出し	1	2	3	4	5
⑦日常の買い物	1	2	3	4	5
⑧高額な買い物	1	2	3	4	5
⑨家計管理	1	2	3	4	5
⑩子どもの世話	1	2	3	4	5
⑪しつけ・教育	1	2	3	4	5
⑫介護	1	2	3	4	5
⑬地域活動への参加	1	2	3	4	5
⑭親戚とのつきあい	1	2	3	4	5

問19-1 あなたのご家庭では、次にあげるような日常的なことについて、**夫婦またはパートナー間でどのような役割分担すべきだとお考えですか。**①から⑭のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)

※配偶者やパートナーのいない方も、次のことがどなたの役割だとお考えか、お答えください。

	夫婦共同	主として夫	主として妻	その他の人	特にない
①生活費の確保	1	2	3	4	5
②洗濯	1	2	3	4	5
③料理	1	2	3	4	5
④食事の後片付け	1	2	3	4	5
⑤掃除	1	2	3	4	5
⑥ゴミ出し	1	2	3	4	5
⑦日常の買い物	1	2	3	4	5
⑧高額な買い物	1	2	3	4	5
⑨家計管理	1	2	3	4	5
⑩子どもの世話	1	2	3	4	5
⑪しつけ・教育	1	2	3	4	5
⑫介護	1	2	3	4	5
⑬地域活動への参加	1	2	3	4	5
⑭親戚とのつきあい	1	2	3	4	5

問20 あなたは、現在の生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活（学習・趣味・付き合い等）」のどれを優先していますか。（○はひとつ）

1. 「仕事」を優先している 2. 「家庭生活」を優先している 3. 「個人の生活」を優先している 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している 5. 「仕事」と「個人の生活」をともに優先している 6. 「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先している 7. すべてのことを優先している

問21 あなたは、現在の生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活（学習・趣味・付き合い等）」のどれを優先したいと希望しますか。（○はひとつ）

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先したい
7. すべてのことを優先したい

3. DVやハラスメントについてお聞きします

問22 あなたは次の言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。①から④のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。（各項目○はひとつ）

	言葉も意味（内容）も知っている	言葉を聞いたことはあるが意味（内容）は知らない	言葉も意味も知らない（今回の調査で知った場合を含む）
①セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
②ドメスティック・バイオレンス	1	2	3
③マタニティ・ハラスメント	1	2	3
④パタニティ・ハラスメント	1	2	3

※セクシュアル・ハラスメント	… 性的いやがらせ。特に、職場や学校等で行われる性的で差別的な言動をいいます。
※ドメスティック・バイオレンス（DV）	… 配偶者やパートナーの間で起こる身体的、精神的、経済的暴力全般を意味します。
※マタニティ・ハラスメント	… 妊娠・出産した女性に対する、精神的、肉体的ないやがらせ。
※パタニティ・ハラスメント	… 育児休業等を取得しようとする男性に対してのいやがらせ。

問23 あなたは自分以外の人に対する以下のようなハラスメント等を身近で見聞きしたことがありますか。①から④のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。（各項目○はいくつでも）

	受けた人から相談されたことがある	受けた人がいると見聞きしたことがある	相談も見聞きしたことはない
①セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
②ドメスティック・バイオレンス	1	2	3
③マタニティ・ハラスメント	1	2	3
④パタニティ・ハラスメント	1	2	3

問24 あなたは以下のようなハラスメント等を直接経験したことがありますか。①から④のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)

	直接経験したことがある	直接経験したことはない
①セクシュアル・ハラスメント	1	2
②ドメスティック・バイオレンス	1	2
③マタニティ・ハラスメント	1	2
④パタニティ・ハラスメント	1	2

問24で「1. 直接経験したことがある」にひとつでも回答した方にお聞きします。

問24-1 あなたはだれか(どこか)に相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------------|-------|------------|
| 1. 知人・友人 | 2. 親族 | 3. 行政の相談機関 |
| 4. 民間の相談機関 | 5. 警察 | 6. 弁護士 |
| 7. その他 () | | |
| 8. 相談しなかった・できなかった | | |

問24-1で「8. 相談しなかった・できなかった」に回答した方にお聞きします。

問24-2 相談しなかった理由は、次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 1. どこに(誰に)相談すればよいか分からなかったから |
| 2. 相談しても無駄だと思ったから |
| 3. 相談したことがわかるとさらに暴力や暴言が増えると思ったから |
| 4. 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから |
| 5. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから |
| 6. 世間体が悪いから |
| 7. そのことについて思い出したくなかったから |
| 8. 自分にも悪いところがあると思ったから |
| 9. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから |
| 10. 相談するほどのことではないと思ったから |
| 11. その他 () |
| 12. 特にない |

問25 あなたは、次の相談機関や相談窓口をご存知ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 奈良県女性センター女性相談コーナー |
| 2. 奈良県中央子ども家庭相談センター |
| 3. 奈良県高田子ども家庭相談センター |
| 4. 広陵町人権相談 |
| 5. 広陵町法律相談 |
| 6. みんなの人権110番(奈良地方法務局) |
| 7. 女性の人権ホットライン(奈良地方法務局) |
| 8. (上記1~7の) いずれも知らない |

→ 問25で「8. いずれも知らない」以外に回答した方にお聞きします。

問26 どのような手段で知りましたか（○はいくつでも）

1. インターネット（ホームページ等）
2. パンフレット、リーフレット、相談カード
3. ポスター
4. テレビ（ニュース、テレビ番組等）
5. ラジオ
6. 知り合いからの紹介
7. その他（)

問27 ハラスメントの防止のためには、どのような対策が必要だと考えますか。（○はいくつでも）

1. 法律制度の強化
2. 相談機関の充実
3. 職場の雇用主等の積極的な防止対策
4. 被害者が加害者に対して毅然とした態度を取ること
5. ハラスメントに関する正しい知識の研修や啓発活動の充実
6. 小中学生へのハラスメントに関する正しい教育の充実
7. 地域における見守り活動（予防体制）の充実
8. 被害者のためのカウンセリングの充実
9. 加害者に対するカウンセリングの実施
10. その他（)

4. 男女共同参画に関する意識についてお聞きします

問28 あなたは次の言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。①から⑤のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。（各項目○はひとつ）

	言葉も 意味（内容）も 知っている	言葉を聞いたことは あるが意味（内容）は 知らない	言葉も意味も知らない （今回の調査で知っ た場合を含む）
①男女共同参画社会	1	2	3
②固定的性別役割分担意識	1	2	3
③ワーク・ライフ・バランス （仕事と生活の調和）	1	2	3
④ポジティブ・アクション （積極的改善措置）	1	2	3
⑤ジェンダー	1	2	3

※男女共同参画社会	… 男女が互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のこと。
※固定的性別役割分担意識	… 「男だから、女だから」「男は仕事、女は家庭」など、固定的な考え方により、男性、女性の役割を決めていること。
※ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	… 一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、多様な生き方が選択・実現できること。
※ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	… 様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくもの。
※ジェンダー	… 生物学的性別(セックス/sex)に対して、「社会的・文化的に形成された性別」のこと。

問29 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか。(○はひとつ)

1. 賛成	2. どちらかといえば賛成
3. どちらでもない	4. どちらかといえば反対
5. 反対	

問30 あなたは、次にあげるような考え方についてどのように思いますか。①から⑤のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも 思わない	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない
①男性の方が女性より管理職としての資質がある	1	2	3	4	5
②妻や子どもを養うのは、男性の責任である	1	2	3	4	5
③家事、育児や介護、病人の世話は男性より女性がする方がよい	1	2	3	4	5
④子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい	1	2	3	4	5
⑤男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい	1	2	3	4	5

問31 あなたは社会全体を見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はひとつ)

1. 男性のほうが優遇されている
2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性のほうが優遇されている
5. 女性のほうが優遇されている

問32 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

①から⑦のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)

	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性の方が 優遇されている	平等である	どちらかといえば 女性の方が 優遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている
①家庭生活	1	2	3	4	5
②職場	1	2	3	4	5
③学校教育の場	1	2	3	4	5
④政治の場	1	2	3	4	5
⑤地域活動の場	1	2	3	4	5
⑥法律や制度上	1	2	3	4	5
⑦社会通念・習慣・しきたり等	1	2	3	4	5

問33 日本の社会において、男女不平等が生じる原因はどこにあると思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女の役割分担についての社会通念（固定的な見方や考え方）や慣習、しきたり等が根強いから
2. 仕事優先の考え方が根強く、それを支えているのは男性だという意識が強いから
3. 女性の仕事に対する意欲が男性に比べて劣っているから
4. 女性が経済的に自立していないから
5. 女性の能力を発揮できる環境や機会が十分でないから
6. 能力を発揮している女性が適正に評価される仕組みが欠けているから
7. 男女の平等について、男性の問題意識が低いから
8. 男女の平等について、女性の問題意識が低いから
9. 学校等における男女平等教育が不十分であるから
10. 家事や育児・介護等が社会的に十分評価されていないから
11. 法律や制度上の差があるから
12. 男女の身体的・生理的な違いがあるから
13. その他（)
14. わからない

問34 あなたは、男性が育児休業を取得することについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 取得したほうが良い
2. どちらかといえば取得したほうが良い
3. どちらかといえば取得しないほうが良い
4. 取得しないほうが良い

問35 あなたは、男性が介護休業を取得することについてどう思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 取得したほうが良い | 2. どちらかといえば取得したほうが良い |
| 3. どちらかといえば取得しないほうが良い | 4. 取得しないほうが良い |

問36 あなたは、女性が仕事を持つことについてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 仕事を持ち、結婚や出産後も仕事を続ける方が良い |
| 2. 結婚を機会に家庭に入り、あとは仕事を持たない方が良い |
| 3. 出産を機会に家庭に入り、あとは仕事を持たない方が良い |
| 4. 出産を機会に退職し、育児終了後再び仕事を持つほうが良い |
| 5. 女性は仕事を持たないほうが良い |
| 6. その他 () |

問37 女性が仕事を続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 夫や家族の理解、協力があること |
| 2. 職場の理解や協力があること |
| 3. 女性自身の意識改革 |
| 4. 保育、子育て施設の充実 |
| 5. 介護施設の充実 |
| 6. 育児や介護等、休業が取得しやすい職場環境であること |
| 7. 育児や介護のため退職しても再雇用される制度があること |
| 8. その他 () |

問38 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれた暮らしのために、職場の環境や制度として、今後、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 残業や休日出勤がないこと |
| 2. フレックスタイム制度や在宅勤務等、柔軟な働き方ができること |
| 3. 育児休業・介護休業が取れること |
| 4. 子育て期に短時間勤務ができること |
| 5. 子どもが病気の時や学校行事の時に休みが取れること |
| 6. 事業所内保育所が設置されていること |
| 7. 上司に理解があること |
| 8. 職場の同僚に理解があること |
| 9. 仕事にやりがいがあること |
| 10. 先輩や上司にお手本となる人がいること |
| 11. 復職を支援する制度があること（情報提供、技能訓練、学習支援等） |
| 12. その他 () |

問39 あなたは今後、どのような形で女性の活躍が進むのがよいと思われますか。(〇はいくつでも)

1. 市町村長になる女性が増えること
2. 市町村議会議員になる女性が増えること
3. 地方公務員の管理職になる女性が増えること
4. 裁判官、検察官、弁護士、医者になる女性が増えること
5. 企業の管理職になる女性が増えること
6. 企業家・経営者になる女性が増えること
7. 自治会長、町内会長等になる女性が増えること
8. 役職等にかかわらず女性が従事する職種が増えること
9. 女性の勤続年数が長くなること
10. 出産しても、子育て期間中でも仕事を続ける女性が増えること
11. 退職した後、再就職しても、また正社員になる可能性が開かれていること
12. 働く女性の割合が増えること
13. 仕事や家庭、地域活動等に男女の固定的な役割分担がないこと
14. その他 ()
15. 特にない

問40 現状、管理職等の意思決定を行う管理的部門や指導的地位への女性の登用が少ない状況にあります。あなたはその主な理由としてどのようなものがあると考えますか。(〇はいくつでも)

1. 必要な知識や判断力を有する女性が少ないから
2. 勤続年数が短く役職に就くための条件を満たす前に退職してしまうから
3. 家庭における責任を多く担っているため、責任ある仕事に就きにくいから
4. 主として補助的業務が与えられ、役職に必要な能力を高める機会が少ないから
5. 男性に比べて、能力を正當に評価されない場合があるから
6. 登用する側に男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから
7. 職場内や顧客に女性管理職に対する抵抗感があるから
8. 女性自身が管理職に就くことに消極的だから
9. その他 ()
10. わからない

問41 今後、男性が女性とともに、子育て、介護に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男性が家事等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事等に参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間のコミュニケーションをはかる
4. 夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重する
5. 男性が参加することに対して、社会の中での評価を高める
6. 労働時間の短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間の拡大をはかる
7. 男性が家事等に関心を高めるような啓発や情報提供を行う
8. 研修や講座の開催により、男性の家事等の技能を高める
9. 男性の情報交換の場や仲間づくりを進める
10. 男性が相談しやすい窓口を設ける
11. その他 ()
12. 特に必要なことはない
13. わからない

男性の方にお聞きします。女性の方は問43にお進みください。

問42 あなたは「男もつらい」と感じることはありますか。(どちらかに○)

1. ある 2. ない →問 43 へ

問42で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問42-1 それはどんなことですか。(○はいくつでも)

1. なにかにつけ「男だから」「男のくせに」と言われる
2. 妻子を養うのは男の責任だと言われる
3. 男なのに酒が飲めないのかとからかわれる
4. 力が弱い、運動が苦手だとバカにされる
5. 仕事の責任が大きい、仕事できて当たり前と言われる
6. 自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある
7. 衣食住のことが十分にできなくて、生活が不便である
8. 家族とのコミュニケーションがうまくいかない(取る時間がない)
9. その他 ()

問43 防災・災害復興活動において、性別に配慮した対応が必要だと考えていますが、どのような対応が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女別のトイレ、更衣室やプライバシーの確保等、性別に配慮した避難所運営をすること
2. 男女のニーズに配慮して、物資を備蓄するとともに、子育て家庭、介護者、障がい者等の視点も入れること
3. 避難所運営で、責任者に男女ともに配置され、男女両方の視点が入るようにすること
4. 自主防災組織への女性の参画を促進すること
5. 防災会議に女性の参画を拡大すること
6. 防災計画へ男女共同参画の視点が入るようにすること
7. 男女の性別に関わらず、日頃からのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする
8. その他 ()

問44 あなたは、今後「男女共同参画社会」を実現するために、行政がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

※男女共同参画社会 ... 男女が互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のこと。

1. 法律や制度の見直し
2. 審議会委員等、政策決定の場に女性を積極的な登用
3. 民間企業や団体等の管理職に女性の登用が進むような支援
4. 相談の場の提供
5. 保育サービスの充実
6. 介護サービスの充実
7. 男女共同参画に関する学習機会の充実
8. 労働時間の短縮や在宅勤務等、働き方の見直し
9. 子育て中や介護中であっても仕事が続けられるような支援
10. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職の支援
11. 男女共同参画に関するPRや広報の充実
12. その他 ()
13. 特になし

問45 男女共同参画に関するあなたのお考えをご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入いただきました調査票を3つ折りにして、同封した返送用封筒に入れ、**8月21日(月)までに**投函をお願いいたします(切手を貼る必要はありません)。